

平成 19 年度 2 級管工事学科試験問題

次の注意をよく読んでから始めてください。

【注意】

- これは学科試験問題です。表紙とも 12 枚 52 問題あります。
- 解答用紙（マークシート）に間違いのないように、試験地、氏名、受験番号を記入するとともに受験番号の数字をぬりつぶしてください。
- 問題 No. 1 から No. 6 までの 6 問題は必須問題です。全問題を解答してください。
問題 No. 7 から No.23 までの 17 問題のうちから 9 問題を選択し、解答してください。
問題 No.24 から No.28 までの 5 問題は必須問題です。全問題を解答してください。
問題 No.29 から No.42 までの 14 問題のうちから 12 問題を選択し、解答してください。
問題 No.43 から No.52 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。
以上の結果、全部で 40 問題を解答することになります。
- 選択問題は、指定数を超えて解答した場合、減点となりますから十分注意してください。
- 解答は別の解答用紙（マークシート）に HB の鉛筆又はシャープペンシル（HB の芯使用）で記入してください。（万年筆・ボールペンの使用は不可）

問題番号	解答記入欄			
No. 1	①	②	③	④
No. 2	①	②	③	④
No. 10	①	②	③	④

解答用紙は

となっていますから、

当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を一つぬりつぶしてください。

解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。

なお、正解は 1 問について一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと正解としません。

- 解答を訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから訂正してください。
消し方が不十分の場合は、二つ以上解答したことになり、正解としません。
- 問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
ただし、解答用紙（マークシート）は計算等に使用しないでください。
- この試験問題は、試験終了時刻（12 時 40 分）まで在席した方のうち、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室した場合は、持ち帰りできません。なお、解答用紙はいかなる場合でも持ち帰りはできません。

必須問題

問題No. 1 から No. 6 までの6問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 1】 室内環境を表す指標として、関係のないものはどれか。

- (1) 気流
- (2) 周壁からの放射
- (3) 揮発性有機化合物 (VOC) 濃度
- (4) 化学的酸素要求量

【No. 2】 湿り空気に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 湿り空気を加熱すると、相対湿度は下がる。
- (2) 絶対湿度は、湿り空気中の水蒸気の質量と湿り空気の質量の比である。
- (3) 湿り空気は、その露点温度より低温の物体に触れると、物体の表面に結露する。
- (4) 飽和湿り空気の乾球温度と湿球温度は、等しい。

【No. 3】 直管路を流体が満流で流れている場合の摩擦損失に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

ただし、摩擦損失はダルシー・ワイ斯巴ッハの式によるものとする。

- (1) 摩擦損失は、管の長さに比例する。
- (2) 摩擦損失は、管の内径に反比例する。
- (3) 摩擦損失は、流体の密度に反比例する。
- (4) 摩擦損失は、流体の速度の2乗に比例する。

【No. 4】 熱に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 気体では、定容比熱より定圧比熱の方が大きい。
- (2) 氷が溶けて同じ温度の水になるために必要な熱は、潜熱である。
- (3) 熱容量の大きい物質は、冷めにくい。
- (4) 真空中では、熱放射による熱エネルギーの移動はない。

【No. 5】 電気工事に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 冷水器の電源回路に、漏電遮断器を使用した。
- (2) ビルなどの建築設備の電動機には、一般に、同期電動機が多く使用されている。
- (3) 金属管工事で、同一回路の電線を同一の配管に収めた。
- (4) アーステスターを用いて、接地抵抗を測定した。

【No. 6】 鉄筋コンクリートに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 常温では、コンクリートの圧縮強度と引張強度は、ほぼ等しい。
- (2) 常温では、鉄筋とコンクリートの線膨張係数は、ほぼ等しい。
- (3) コンクリートは、アルカリ性であるので、鉄筋のさびを防止する効果がある。
- (4) 型枠の最小存置期間は、平均気温が低くなると、長くなる。

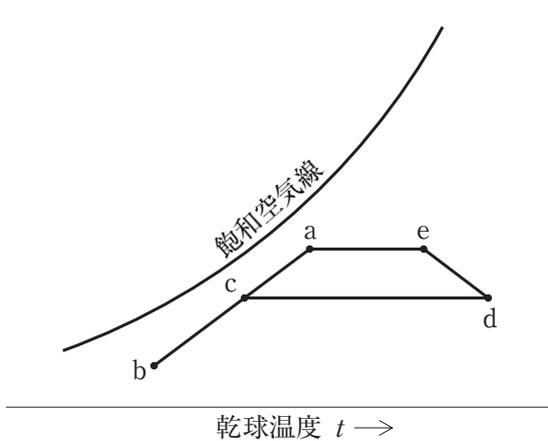
選 択 問 題

問題No.7 からNo.23 までの 17 問題のうちから 9 問題を選択し、解答してください。

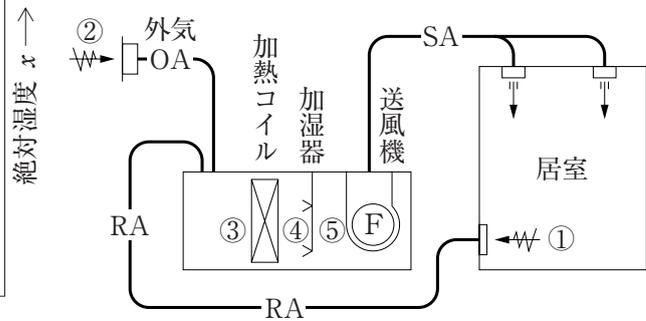
【No. 7】 空気調和設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 定風量単一ダクト方式は、送風量を一定にして送風温度を変化させる方式である。
- (2) 変風量単一ダクト方式は、送風温度を一定にして送風量を変化させる方式である。
- (3) ダクト併用ファンコイルユニット方式は、全空気方式に比べ、ダクトスペースが大きくなる。
- (4) マルチパッケージ形空気調和機には、1 台の室外機で冷房運転と暖房運転を同時に行うことができるものがある。

【No. 8】 暖房時の湿り空気線図の e 点に対応する空気調和システム図上の位置として、**適当なもの**はどれか。



湿り空気線図



空気調和システム図

- (1) ①
- (2) ③
- (3) ④
- (4) ⑤

【No. 9】 空気調和の熱負荷に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 冷房時の構造体外壁の熱負荷計算において、日射・夜間放射の影響を考慮する場合には、実効温度差を用いる。
- (2) 人体による熱負荷には、潜熱と顕熱がある。
- (3) 熱通過率とは、単位温度差、単位面積及び単位時間当たりの通過熱量をいい、その値が大きいほど断熱性能がよい。
- (4) 暖房計算では、一般に、日射量や室内発生熱を無視する。

【No. 10】 パッケージ形空気調和機に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 冷暖房併用方式には、空気熱源ヒートポンプ式と水熱源ヒートポンプ式がある。
- (2) パッケージ形空気調和機による空気調和方式は、ユニット形空気調和機を用いた全空気方式に比べて広い機械室面積が必要となる。
- (3) マルチパッケージ形空気調和機は、多数の屋内ユニットと一つの屋外ユニットを組み合わせたものである。
- (4) ガスヒートポンプ冷暖房機（GHP）は、コンプレッサーの駆動機としてガスエンジンを使用するものである。

【No. 11】 暖房時の良好な室内温熱環境の確保に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 暖房負荷となる外壁面からの熱損失を、できるだけ減少させる。
- (2) 強制対流形放熱器を廊下側の床に配置し、コールドドラフトを防止する。
- (3) 自然対流形放熱器では、放熱器の表面温度と室内温度の差を少なくする。
- (4) 強制対流形放熱器では、送風量をできるだけ多くし、室内空気を攪拌する。

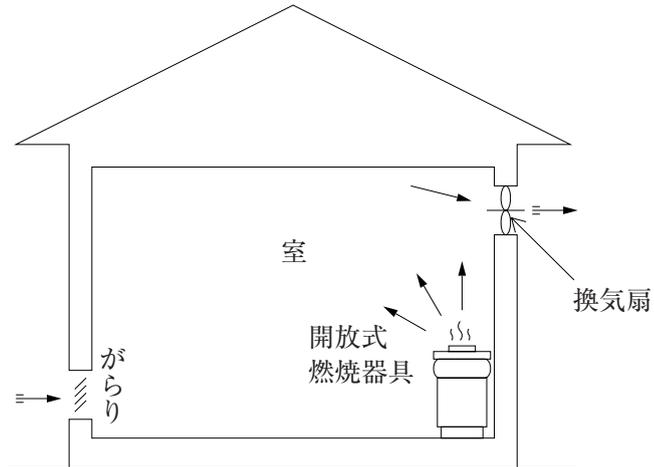
【No. 12】 換気設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 厨房は、燃焼空気が必要なので、正圧にする。
- (2) 便所は、臭気が他室に漏れないように負圧にする。
- (3) 排気送風機は、排気口近くに設置し、ダクト内の正圧部分を短くする。
- (4) 実験室に設置するドラフトチャンバー内の圧力は、室内より負圧にする。

【No. 13】 図に示す開放式燃焼器具のある室に換気扇を設けた場合の最小有効換気量として、「建築基準法」上、正しいものはどれか。

ただし、 K ：燃料の単位燃焼量当たりの理論廃ガス量 $[\text{m}^3/(\text{kW} \cdot \text{h})]$

Q ：火を使用する器具の燃料消費量 $[\text{kW}]$ とする。



- (1) $2KQ$ $[\text{m}^3/\text{h}]$
- (2) $20KQ$ $[\text{m}^3/\text{h}]$
- (3) $30KQ$ $[\text{m}^3/\text{h}]$
- (4) $40KQ$ $[\text{m}^3/\text{h}]$

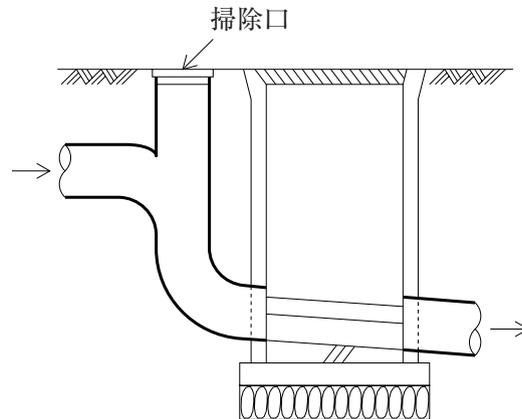
【No. 14】 排煙設備に関する記述のうち、最も適当でないものはどれか。

- (1) 階高が高いほど、自然排煙と機械排煙を併用した場合の効果が高い。
- (2) 排煙口は、天井面又は壁面の上部に取り付ける。
- (3) 排煙口、風道その他煙に接する部分は、鋼板などの不燃材料で造らなければならない。
- (4) 電源を必要とする排煙設備には、商用電源が断たれた時、自動的に切り替わる予備電源を設ける。

【No. 15】 水道水の水質基準に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 一般細菌は、1 mL の検水で形成される集落数が 100 以下であること。
- (2) 大腸菌は、1 mL につき 10 個以下であること。
- (3) 鉄及びその化合物は、鉄の量に関して、0.3 mg/L 以下であること。
- (4) pH 値は、5.8 以上 8.6 以下であること。

【No. 16】 次の図に示すような排水に用いられるますの名称として、**適当なもの**はどれか。



- (1) ためます
- (2) ドロップます
- (3) 雨水浸透ます
- (4) トラップます

【No. 17】 給水設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 静水頭が高い配管には、ウォーターハンマー防止のためエアーチャンバーなどを設ける。
- (2) 飲料用給水タンクの上部には、汚染のおそれのある排水管を通してはならない。
- (3) 飲料用給水タンクのオーバーフロー管には、トラップを設け、蚊などの虫が入らないようにする。
- (4) 水道直結増圧方式には、逆流を確実に防止できる逆流防止器が必要である。

【No. 18】 給湯設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 湯沸室の給茶用給湯器は、使用温度が90℃程度と高いため、一般に、局所式とする。
- (2) 中央式給湯用の循環ポンプは、一般に、貯湯タンクの出口側の給湯管に設ける。
- (3) ガス瞬間湯沸器の能力は、一般に、号数と呼ばれ、水温の上昇温度を25℃とした場合の出湯流量1 L/minを1号としている。
- (4) 密閉形膨張タンクは、開放形と異なり補給水タンクを兼用しないため設置位置の制限を受けない。

【No. 19】 建物のある一つの排水系統に使用されている通気管のうち、最も管径の大きいものはどれか。

- (1) ループ通気管
- (2) 各個通気管
- (3) 排水横枝管の逃がし通気管
- (4) 伸頂通気管

【No. 20】 排水・通気に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 水飲み器の器具排水管にトラップを設けた場合、間接排水の水受け容器にはトラップを設けない。
- (2) 伸頂通気方式は、マンションなどに採用され、排水立て管を通気管として兼用した方式である。
- (3) Sトラップは、自己サイホン作用を起こしやすいトラップである。
- (4) ループ通気管の横走り管には、通気立て管に向かい先上がり勾配をつける。

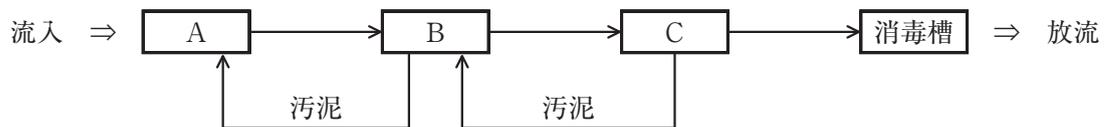
【No. 21】 火災の種類と消火設備との組合せのうち、適当でないものはどれか。

- | (火災の種類) | (消火設備) |
|---------------------|-----------|
| (1) A火災、木材などの一般火災 | 屋内消火栓設備 |
| (2) B火災、石油類の油火災 | 泡消火設備 |
| (3) B火災、動植物油類の油火災 | 水噴霧消火設備 |
| (4) C火災、電気施設などの電気火災 | スプリンクラー設備 |

【No. 22】 ガス設備に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) LPG は、常温・常圧では気体であるが、圧力を加えたり、冷却したりすると容易に液化する炭化水素類である。
- (2) 家庭用の都市ガス用ガスメーターは、災害の発生のおそれのある大きさの地震動、過大なガスの流量又は異常なガス圧力の低下を検知した場合に、ガスを遮断する機能を有するものでなければならない。
- (3) LPG の代表的な充^{てん}填容器には、10 kg、20 kg 及び 50 kg 容器がある。
- (4) 都市ガス用のガス漏れ警報器は、ガス機器から水平距離が 8 m 以内で、かつ、床面から 30 cm 以内の位置に設置しなければならない。

【No. 23】 処理対象人員 30 人以下の嫌気ろ床接触ばっ気方式の浄化槽のフローシート中、 内に当てはまる槽の名称の組合せとして、**正しいもの**はどれか。



- | (A) | (B) | (C) |
|------------|--------|--------|
| (1) 嫌気ろ床槽 | 接触ばっ気槽 | 沈殿槽 |
| (2) 嫌気ろ床槽 | 沈殿分離槽 | 接触ばっ気槽 |
| (3) 沈殿分離槽 | 接触ばっ気槽 | 沈殿槽 |
| (4) 接触ばっ気槽 | 嫌気ろ床槽 | 沈殿分離槽 |

必須問題

問題No.24 からNo.28 までの5問題は必須問題です。全問題を解答してください。

【No. 24】 ガス湯沸器に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 元止め式湯沸器は、小形の瞬間湯沸器で、湯沸器付属の栓を開閉して給湯する機器である。
- (2) 貯湯湯沸器は、給水方式により直結式とシスターン式がある。
- (3) 密閉式湯沸器は、燃焼に室内の空気を用い、燃焼廃ガスは排気筒で屋外へ排出する機器である。
- (4) 先止め式湯沸器は、湯沸器の先の配管に設けた湯栓を開閉することで主バーナーを点火、閉止する機器である。

【No. 25】 冷却塔に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 冷却作用は、主に空気の顕熱を利用したものである。
- (2) 送風機を用いた開放式冷却塔は、冷却効率がよく、多く使用されている。
- (3) 冷却塔は、スケール障害対策として、定期的に水をブローする。
- (4) 向流形冷却塔は、上部から冷却水を滴下させ、塔下部から空気を吸い込んで熱交換を行うので、冷却効率がよい。

【No. 26】 ダクトに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 長方形ダクトのアスペクト比は小さい方が望ましい。
- (2) ダクト内の風速を速くすると、騒音が発生しやすい。
- (3) エルボの圧力損失は、曲率半径が大きいほど大きくなる。
- (4) 同一角度の拡大、縮小では、拡大の方が摩擦損失が大きい。

【No. 27】 配管付属品とその設置目的の組合せのうち、**関係のないものはどれか。**

(配管付属品)	(設置目的)
(1) ボールタップ	給水の自動補給
(2) ベルトラップ	蒸気凝縮水の排水
(3) バキュームブレーカー	上水の逆流防止
(4) 伸縮管継手	給湯配管の軸方向の変位吸収

【No. 28】 次の書類のうち「公共工事標準請負契約約款」上、**設計図書に含まれないものはどれか。**

- (1) 図面
- (2) 仕様書
- (3) 工程表
- (4) 現場説明に対する質問回答書

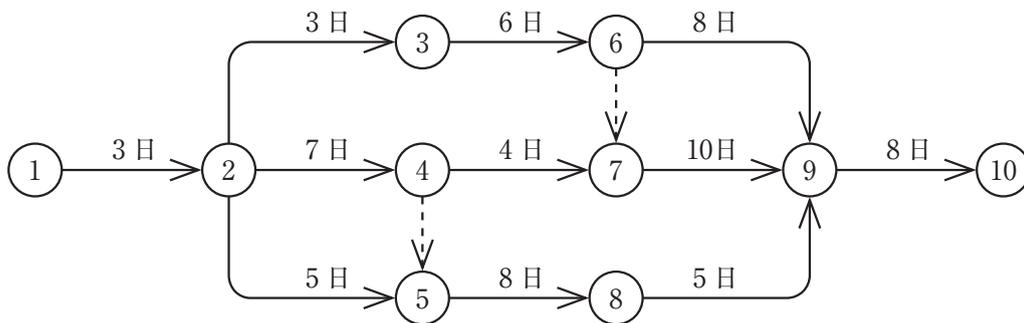
選 択 問 題

問題No.29 からNo.42 までの 14 問題のうちから 12 問題を選択し、解答してください。

【No. 29】 施工に必要な図書類とその作成者の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (図書類) | (作成者) |
|-----------|-------|
| (1) 特記仕様書 | 設計者 |
| (2) 総合工程表 | 設計者 |
| (3) 施工計画書 | 施工者 |
| (4) 施工図 | 施工者 |

【No. 30】 図のネットワーク工程表のクリティカルパスにおける所要日数として、**正しいもの**はどれか。



- (1) 28 日
- (2) 30 日
- (3) 32 日
- (4) 34 日

【No. 31】 工程管理に用いる図表の名称と関連する用語の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- | (図表の名称) | (関連する用語) |
|---------------|----------|
| (1) ネットワーク工程表 | バナナ曲線 |
| (2) ネットワーク工程表 | アクティビティ |
| (3) ガントチャート | 達成度 |
| (4) バーチャート | 予定進度曲線 |

【No. 32】 空気調和設備のダクトの風量測定に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ダクト内の風量測定は、ダクトを等断面積に区分し、それぞれの中心風速を測定し、全体の平均を求め、これに断面積を乗じて風量を求める。
- (2) ダクト内の風量測定は、偏流の起こらない直管部分にて行う。
- (3) 風量測定を熱線風速計を用いて行う場合は、熱線風速計には、一般に、指向性があるので、受感部を風向に対し直角に当てる。
- (4) 遠心送風機の風量調節は、始動時に主ダンパーを全開にし、徐々に閉めて設計風量に調整する。

【No. 33】 高所作業に関する文中、 内に当てはまる数値として、「労働安全衛生法」上、**正しいもの**はどれか。

事業者は、高さが m を超える箇所で作業を行うときは、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならない。ただし、安全に昇降するための設備等を設けることが作業の性質上著しく困難なときは、この限りでない。

- (1) 1
- (2) 1.5
- (3) 2
- (4) 2.5

【No. 34】 貯湯タンクの据付けに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 貯湯タンクの断熱被覆外面から壁面までの距離は、原則として 450 mm 以上とる。
- (2) 貯湯タンクの基礎を防振パッド敷きとする。
- (3) 加熱コイルを引き出すためのスペースを確保する。
- (4) 水平に据付け、脚に無理な力がかからないようにする。

【No. 35】 ポンプの据付けに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ポンプの吸込管は、ポンプに向かって下がり勾配とする。
- (2) ポンプのフート弁は、空気を吸い込まないように、注水場所を避けて設置する。
- (3) 負圧となるおそれがあるポンプの吸込管には、連成計を設ける。
- (4) 振動、騒音のおそれがある場合は、ポンプの吸込み、吐出の両側に防振継手を設ける。

【No. 36】 配管の施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 帯鋸盤は、塩化ビニルライニング鋼管の切断に適している切断工具である。
- (2) 塩化ビニルライニング鋼管のライニング部の面取りの際には、鉄部を露出させてはならない。
- (3) 塩化ビニル管を接着接合する際には、受口には接着剤を塗布しない。
- (4) 鋼管のねじ接合の余ねじ部を油性塗料で防錆する場合であっても、切削油をふき取る。

【No. 37】 配管の支持及び固定に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 複式伸縮管継手を用いる場合は、伸縮管継手本体を固定する。
- (2) ステンレス管を鋼製金物で支持する場合は、絶縁材を配管外側に巻いてから支持をする。
- (3) 複数の配管を並行に上下させて吊る場合は、下の配管が軽量であっても、上の配管から直接吊ってはならない。
- (4) 振止め支持に用いる U ボルトは、伸縮する配管であっても、強く締め付けて使用する。

【No. 38】 ダクトの施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ダクトの補強リブは、コーナーボルト工法では設けるが、アングルフランジ工法では設けない。
- (2) スパイラルダクトの差込み接合では、継手、シール材、銅製ビス、ダクト用テープを使用する。
- (3) 浴室の排気に長方形ダクトを使用する場合は、できるだけダクトの継目が下面にならないように取り付ける。
- (4) 送風機の吐出直後にダクトを曲げる場合は、送風機の回転方向と同じ方向とする。

【No. 39】 ダクト及びダクト付属品に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) フレキシブルダクトは、ダクトと吹出口ボックスの接続などに用いられる。
- (2) 防火ダンパーを天井内に設ける場合は、保守点検が容易に行える点検口を設ける。
- (3) 送風機の吸込口及び吐出口には、たわみ継手を設ける。
- (4) 吸込口は気流調整のため、羽根が可動式のものを使用する。

【No. 40】 保温に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

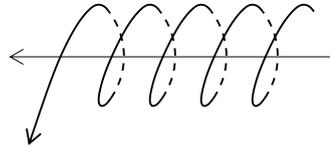
- (1) 給・排水管で、防火区画を貫通する部分は、モルタル又はロックウール保温材で埋める。
- (2) ポンプ廻りの防振継手は、原則として保温を行わない。
- (3) 温水管の還り管は、保温を行わない。
- (4) 防火区画を貫通する冷水管、冷温水管の保温は、貫通する部分をロックウール保温材で行う。

【No. 41】 機器又は配管とその試験方法の組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

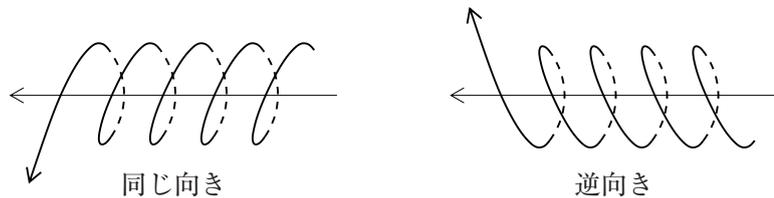
- | (機器又は配管) | (試験方法) |
|----------|--------|
| (1) 冷媒配管 | 水圧試験 |
| (2) 給水管 | 水圧試験 |
| (3) 排水管 | 満水試験 |
| (4) 浄化槽 | 満水試験 |

【No. 42】 防食テープ巻きの施工法に関する文中、 に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

ペトロラタム系防食テープを A 巻きを行い、さらに防食用ビニルテープを B に A 巻きを行う。



ペトロラタム系防食テープの巻き方向



防食用ビニルテープの巻き方向

(A) (B)

- (1) $\frac{1}{3}$ 重ね ——— 同じ向き
- (2) $\frac{1}{3}$ 重ね ——— 逆向き
- (3) $\frac{1}{2}$ 重ね ——— 同じ向き
- (4) $\frac{1}{2}$ 重ね ——— 逆向き

選 択 問 題

問題No.43 からNo.52 までの 10 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

【No. 43】 建設業において労働者を雇い入れたときに、事業者が行うべき安全衛生教育の内容として、「労働安全衛生法」上に定められていないものはどれか。

- (1) 作業開始時の点検及び作業手順に関すること。
- (2) 休業補償に関すること。
- (3) 当該業務に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防に関すること。
- (4) 整理、整頓^{とん}及び清潔の保持に関すること。

【No. 44】 賃金台帳に労働者各人別に記入しなければならない事項として、「労働基準法」上に定められていないものはどれか。

- (1) 労働者の氏名
- (2) 労働者の性別
- (3) 労働者の年齢
- (4) 労働者の労働日数

【No. 45】 建築の用語に関する記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 共同住宅は、特殊建築物である。
- (2) 煙突は、建築設備である。
- (3) 最下階の床は、主要構造部である。
- (4) 継続的に使用される会議室は、居室である。

【No. 46】 建築物に設ける配管設備に関する記述のうち、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 排水の配管設備で、汚水に接する部分は、不浸透質の耐水材料で造らなければならない。
- (2) 飲料水の配管設備とその他の配管設備は、直接連結させてはならない。
- (3) 地階を除く階数が3以上の建築物に設ける配管設備は、不燃材料でなければならない。
- (4) 雨水排水立て管は、通気管と兼用してはならない。

【No. 47】 管工事業の許可を受けた建設業者が置かなければならない主任技術者に関する記述のうち、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 主任技術者は、請負契約の履行を確保するため、請負人に代わって工事の施工に関する一切の事項を処理しなければならない。
- (2) 2級管工事施工管理技士の資格を有している者は、主任技術者としての要件を満たしている。
- (3) 軽微な工事においては、主任技術者は、当該工事現場に専任の者でなくてもよい。
- (4) 下請負人として工事の一部を請け負った場合であっても、主任技術者を置かなければならない。

【No. 48】 一般建設業の許可業者に関する記述のうち、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

- (1) 管工事業の許可を受けた者は、管工事に附帯する電気工事も合わせて請け負うことができる。
- (2) 建設業の許可には、有効期間の定めはなく、廃業等の届け出をしない限り有効である。
- (3) 営業所ごとに、一定の要件を満たす専任の技術者を配置しなければならない。
- (4) 請負代金の額が500万円以上の管工事を請け負おうとする者は、建設業の許可を受けていなければならない。

【No. 49】 屋内消火栓設備に関する文中、 内に当てはまる数値の組合せとして、「消防法」上、正しいものはどれか。

1号屋内消火栓は、防火対象物の階ごとに、その階の各部分から一のホース接続口までの水平距離が A m 以下、2号屋内消火栓にあつては、 B m 以下となるように設けなければならない。

- (A) (B)
- (1) 25 ——— 15
- (2) 25 ——— 30
- (3) 50 ——— 15
- (4) 50 ——— 30

【No. 50】 建設工事現場で生じた発生材のうち、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、産業廃棄物として定められていないものはどれか。

- (1) 建設残土
- (2) 金属くず
- (3) 工作物の除去に伴って生じた木くず
- (4) 工作物の除去に伴って生じたコンクリートの破片

【No. 51】 特定建設作業の届け出に関する文中、 内に当てはまる用語として、「騒音規制法」上、正しいものはどれか。

指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の開始の日の7日前までに、必要な事項を に届け出なければならない。ただし、災害その他非常の事態の発生により特定建設作業を緊急に行う必要がある場合は、この限りでない。

- (1) 特定行政庁
- (2) 環境大臣
- (3) 都道府県知事
- (4) 市町村長

【No. 52】 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」上、エネルギーの効率的利用のための措置を実施することが定められていないものはどれか。

- (1) 照明設備
- (2) 給湯設備
- (3) 昇降機
- (4) ガス設備